



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 大 口 弘 和
幹事 谷 口 優
会報・雑誌委員長 山 本 英 次

No.21

慈愛の種を播きましょう Sow the Seeds of Love

2002~2003年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

きょうの例会
第976回 平成14年12月17日(火)

音楽演奏

(紹介 大谷君)

先週の記録
第975回 平成14年12月4日(水) 雨
年末会員・家族懇親会
於:ウェスティンナゴヤキャッスル 18時

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員	71(66)名	出席	50名
出席率	75.76%		
前々回	11月26日 (修正出席率)	96.92%	
◆ビジター数	(12/10)	47名	

大口会長挨拶



こんばんは！本日もたくさんの会員・ご家族総勢109名の皆様の参加を頂きまして心より感謝いたします。

私どもクラブも、20周年を迎え、名古屋能楽堂にて去る10月23日に記念例会を開催しましたことは記憶に新しいことではありますがその際には、ご夫人方の絶大なるご協力を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私は最近、特に思うことがあります、それは創立会長の水野民也さんご夫妻が、いつも揃って参加していただけることです。そのことがクラブの団結と友愛の源となっているのではないのでしょうか。これ

からもよろしくお願ひいたします。

今宵ひと時、美味しい料理と楽しい会話そしてレディースプラスの金管楽器による美しい音色を堪能していただければ幸いです。

最後になりましたが、このようなすばらしい会を準備して頂きました、萩原親睦活動委員長・小山副委員長・親睦委員会の皆様へ感謝します。そして、来る新年が皆様にとって良い年になりますように祈念して、挨拶とさせていただきます。

萩原親睦活動委員長より歓迎挨拶

皆さまこんばんは。そして少し早ようございますがメリー・クリスマス！ようこそ「年末会員・家族懇親会」へお出かけ下さいました。親睦活動委員一同心より厚く御礼申し上げます。

今宵このひと時、皆様大いに笑いそしてご歓談下さいませ。「笑う角には福来る」でございます。

本日のお料理は小山副委員長はじめ委員の肝いりで選ばれたものばかりです。きっと皆様に喜んで召し上がって頂けることと存じます。お食事の後は世の中の不景気を吹き飛ばしてしまいそうな楽しい演奏とご厚意のお品・特別賞を用意してお楽しみ抽選会がございます。さあ、どなたに何が当たりますでしょうか？

どうぞ最後までお楽しみ下さいませ。

◆新入会員紹介

7月2日入会

萩原親睦活動委員長

木原 喜造君

◆ゲスト紹介

米山奨学生

王 道海君

千種区手をつなぐ育成会

山口 美佳様

名古屋米国領事館商務領事

スティーブN.J.アンダーソン様

東山植物園 園長

岡島 徳岳様

伊藤三津子さんゲスト

三上 郁子様

〃

山岡 陽子様

森 幸一君ゲスト

山下 直美様

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会 員	71(65)名	出 席	49名
出席率	75.38%		
前々回	11月19日 (修正出席率)	92.31%	

◆ビジター紹介 2名

◆ゲスト紹介
 造形作家・アートプロデューサー 夢童由里子様

谷口幹事報告

1. 本日例会終了後、年次総会を開催致しますので全会員そのままお残り下さい。
 その後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は2階の橘の間にお集まり下さい。
2. 明日は午後6時よりウェスティンナゴヤキャッスルホテルにて年末会員家族懇親会を開催致しますので10日(火)の例会はございません。
3. ロータリーの友とガバナー月信が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。
4. 久野君の黄綬褒章受賞祝賀会のご案内をお配りしましたので、御返事は事務局までお願い致します。

大口会長挨拶

いなりずし

みなとRCの飯田さん、和合RCの一柳さん、ようこそおい出頂きました。今日は講演に夢童さんをお迎えしており、お話を楽しみにしております。

又、先日は黒野君の文部科学大臣賞祝賀会のご案内を、今日は久野君の黄綬褒章祝賀会のご案内をお配りしてありますが、出来るだけ多くの方の参加を願います。

さて、日本人の好物に鮓が挙げられますが、本日は「いなりずし」「おいなりさん」についてお話したいと思います。

お稲荷さんといえば揚げずし、油揚げをキツネが好物だからといわれていますが本来稲荷とは稲生(いねなり)からきた言葉で、稲の豊作をもたらす農耕の神様。一方、キツネは人里近くに住んで害獣のネズミやモグラを捕るので、農耕上有益であったこともあり、稲荷信仰とキツネが結びついて稲荷神社の使者とされたようです。

人々はキツネに感謝して巣穴に農作物の供え物をしましたが、肉食であるキツネが食べたのは油揚げだけだったので、そこでキツネは油揚げが好きだという話になったと推測されます。油揚げの色が、キツネ色なのも要因のようです。

また、いなりずしには地方差があり、愛知県や関東では米俵をあらわす四角形の中にすし飯を入れます。関西では「信太鮓(しのだずし)」ともいい、油揚げを対角線に切ってキツネの耳を表す三角形に作り、ごぼうや人参などを刻んで煮たものをすし飯にまぜて入れます。

いずれにしても、発祥地は、愛知県の豊川稲荷で、1830年代とのことです。

また、「助六ずし」の由来は、江戸中期に京都の万屋助六が島原の遊女“揚巻”(あげまき)と心申したことから、いなり(揚げ)・のりまき(巻き)のつめあわせを助六というようになったようです。

◆講演

“ものづくり・夢づくり”
 造形作家・アートプロデューサー 夢童由里子様
 (紹介 山本(眞)君)



江戸時代、井原西鶴がこんな句をよんでいる。
 「茶を持てる 人形の車 働きて」

1796年、寛政の改暦に関わった天文学者の一人、細川半蔵頼直が著した機械説明図の古典といわれている『機巧図彙』の中に、人形がお茶をもって「どうぞ」とサービスする「茶運び人形」がある。人形が茶碗をもって前進する。お客が茶碗をとると停止する。「ありがとう」と茶碗をもどすと、クルリと向きをかえて戻っていく。物を運んだり、出発地点からもとの場所まで行って帰ってくる。現代の自動車の要素を備えた仕事ぶりだ。西鶴はカラクリの基をその時正確によみとっていたのか、句の中にクルマという言葉を入れている。自動車こそ、英知で築きあげたカラクリそのものといえよう。

カラクリから機械文明へ

産業技術の中核といわれている中部地方、特に愛知県はモノづくりのメッカとされ工業県として優れた実績を毎年伸ばしているが、これを可能にしたのは江戸時代に培われた匠たちの技術集団である。その技術力のルーツをたどると、御三家筆頭、尾張藩の存在が大きい。なかでも名古屋城の築城に関して携わったモノづくり達の技術は後世にさまざまなヒントを残していった。全国から集まった多くの職人のうち、築城後も何割かはとどまり、その手の技を継承していった。

カラクリは大阪生まれの人形芝居と、名古屋生まれの和時計の技術の出会いから誕生した。江戸時代には「木工」で精緻な人形をつくり、明治以降近代文明の洗礼を受け「鉄工」を中心とした各種の素材で、機械技術が躍進していく。時計から自動織機、そして国の基幹産業ともいべき自動車へと展開し、先人達の知的遊び心が「果実」となって結晶していった。

昔の人々にとって、カラクリという言葉には、今日のハイテクマシーンと同じ響きがあったかもしれない。時計の脱進装置と同じく、ゼンマイの戻りを一定の速度に抑える装置をつけた茶運び人形も、クランクやカムを組みあわせて大きな動力をもつ自動車も、基本的な原理はすべて同じといえるだろう。

逆点の発想

私は現在、「コンピュータ制御のからくり人形」をつくって今までに九州、四国、関西、中部、関東と各地に設置してきた。しかし、私のカラクリへの導入部分は茶運び人形のような精緻なものではなかった。昔は静止した人形をつくっていたが作品展をくりかえしていたある時期、ふと面白い法則を発見する。それは展示会場に来たお客が、一様に同じ動作をすることだった。

作品の前になると、頬づえをつき腰をかがめたり、腕を組み目を細めたり、近づいたり1周まわったりと、ひとつの人形の前で同じ動きをいろいろな人が同じように反復する。それをみて、人間が動かずに人形が動くときと楽しいだろうと逆点の発想にとりつかれ、人形に仕掛けはできないものかと考えた。稚拙な発想である。中華料理のターンテーブルをみても、ハイウェイに蛍光塗料でぬられたカーブラインの点滅も、クリスマスのイルミネーション等、何をみても動かす方法論ばかりが頭を占めていった。最初の頃は、市販の小さなモーターに歯車を組みこみ、腕を動かすことや頭をふる仕草だけでも面白く、夢中でとりこんでいった。

動かないものが動く。人形に意外性が生まれた。私の中で思いがけなかったが、それが世にいう「からくり人形」と呼ばれるものだった。試行錯誤をくりかえし、今では専門の技術スタッフも入れて、からくりモニュメントとしての作品を制作し続け、各地に設置した作品の中で、東海北陸自動車道の川島PAに設置した「風の童子」はその中でも異色のモニュメントとなった。

心に響くモノづくりを

岐阜県川島町に河川環境楽園という名のハイウェイオアシスが順次完成し本オープンとなったが「風の童子」は自然へのオマージュとして大きな擬木にからくり人形を配し、木の下部をくりぬいて小さなトンネルとした。その真上に祠のような窪みをつくり木の精を座らせた。単なるモニュメントが入魂式をしたその日から、楽しい話題を提供してくれることとなりカラクリが作動している間に窪みに小銭を入れトンネルをくぐると、健康と女性は安産に恵まれ、小銭を投げ入れ2回頭を下げると安全走行の祈願となる。

噂が噂を呼んで、窪みのお金は設置した2年前から絶えることなく投げ込まれている。先日、写真撮影に行ったわがスタッフの背後からも、小銭が放りこまれていたほどだ。それらの浄財は現在、川島町と道路公団の話し合いで、町の福祉施設に贈られている。「風の童子」はカラクリとしては動きは非常に少ないが人は楽しんで、作動時刻まで売店などで時間を過ごしてくれている。

楽しい話はまだまだあり、東京の銀座と名古屋の大須はからくり人形の作動時刻になると、どこからともなくオバサンが現われ「カラクリが始まるョー」と触れ廻ってくれている。両作品とも屋外にあるので、触れ廻らずとも通行人には目にとまる。もちろん、その勝手連の呼びこみの人達は別人なのだが、人形の解説をしてくれる所まで同じなのだ。作品を見学に行った友人達が何度も伝えてくれた。私の中の「匠ごころ」が少しずつ根を生やしていく。

モノづくりの幸せは受け手側の心に響いてこそ、その充足感は何ものにも代えがたく、さらに夢ある作品をわが身に問いかけている。

麻雀会成績

於：松楓閣 11/20(木)

RANK	NAME	MARK
優勝	小林 明	+68,600
2位	三好 親	+48,300
3位	久野 肇一	+43,700
B B	伊藤三津子	△50,000

(参加者 12名)

今年度2回目は3卓で盛大に楽しく開催致しました。次回(1月15日)も同好会員以外の方も奮ってご参加下さい。

例会変更のお知らせ

名古屋名南RC	12/24(木)忘年家族会の為
名古屋東南RC	12/25(木)忘年家族会の為、18時～
名古屋瑞穂RC	12/26(木)上期反省会の為
名古屋大須RC	12/26(木)そば例会の為

年次総会

1. 2003～2004年度理事役員の件
 2. ポリオ特別寄付金徴収の件
 3. I.M.登録料の件
- ※ 上記、全会員に承認されました。

第152回ゴルフ会成績

ターゲットエースG.C. 11/21(木)

RANK	NAME	Out	In	G	Hcp	NET
優勝	三好 親	44	44	88	15	73
2位	林 哲央	41	40	81	5	76
3位	澤田 淳治	40	43	83	5	78
B B	松居 敬二	46	43	89	9	80

(参加者 7名)

・次回ハンディ変更 三好君12、林君4

◆11月度理事役員会議題 (11/19)

1. アフガニスタン障害者支援の件
2. 指名委員会の件
3. 日本口唇口蓋裂協会援助金の件
4. 優良従業員表彰の件

◆12月度理事役員会議題 (12/3)

1. アフガニスタン障害者支援の件
2. 社会奉仕委員会事業の件
3. 年末謝礼の件
4. 退会者の件

◆ニコボックス (12/3、12/4) は次回と致します。

◆次回例会 (12月24日)

年末例会